

祝 緑川船津地区河川防災ステーション完成式 令和8年4月19日



住民のくらしを守る新たな拠点 緑川船津地区河川防災ステーション完成

地域を守り、地域とつながる
新たな防災拠点

緑川船津地区河川防災ステーションは、洪水被害を最小限に食い止めるため、洪水時の水防活動や災害時の緊急復旧活動を行うための拠点であり、国土交通省と町が共同で令和3年度より事業に着手し、本年4月に完成しました。

河川防災ステーションは、国土交通省にて災害時の緊急復旧に必要なとなる土砂や根固めブロックなどの備蓄資材や緊急時のヘリコプター離着陸場などの整備のほか、甲佐町にて水防活動時の指令室や待機場所として使用する甲佐町水防センターを熊本甲佐総合運動公園の管理棟と兼用する施設として配置。災害発生時の初動対応の迅速化や被害の軽減を図ります。

また、平常時には、水防活動の訓練や防災意識の向上を目的とした学習の場としても活用できるだけでなく、地域行事などの話し合いや交流、地域住民の皆さんの憩いの場としても利用が可能となります。



緑川船津地区河川防災ステーション概要

- ▶ 所在地 甲佐町有安・船津（熊本甲佐総合運動公園横）
- ▶ 敷地面積 39,000㎡
- ▶ 備蓄土砂量3,800㎡、 備蓄雑割石6,700㎡
根固めブロック 470個
- ▶ ヘリポート 1か所（1,100㎡）
- ▶ 駐車場 普通車両128台分

緑川船津地区
河川防災ステーション
施設紹介

駐車場

普通車両128台が駐車可能なスペースを確保。平常時には、運動公園を利用したイベント等の際の駐車場としても利用できます。

備蓄資材

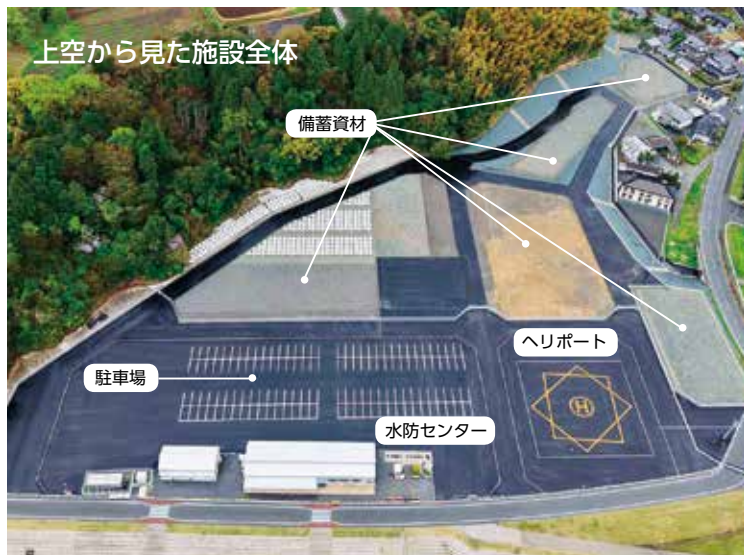
根固めブロックや雑割石、土砂など、災害発生時に被災した河川や道路の安全確保や復旧などに必要な備蓄資材を保管しています。



甲佐町水防センター



緊急時には、水防活動時の現場指令室や待機室として活用。トイレやシャワーなども完備しています。平常時には住民の皆さんが集まる場所として利用可能です。



▲備蓄資材（根固めブロック）の活用例



▲備蓄資材（土砂や雑割石）の活用例



現場指令室



水防団待機室



防災ヘリポート

災害時におけるヘリコプターの離着陸が可能で、道路や橋が使用できなくなったときのための、救助活動や物資輸送を迅速に行う拠点となります。

未来へつなぐ防災拠点 完成セレモニー



4月19日（日）船津地区河川防災ステーションの完成を記念し、完成式典が開催されました。甲佐中吹奏楽部のオープニング演奏で始まり、国土交通省、熊本県、町が共催の式典には多くの来賓や関係者などが出席。金子恭之国土交通大臣が「緑川流域全体の安全・安心の確保に向け、引き続き防災・減災対策に向けた事業推進を図ります」と式辞。甲斐高士町長が「地域の防災力向上につながる重要な施設として、本町の復興と安全・安心の象徴となるものと期待します」とあいさつしました。式典後にはテープカットが行われ、新たな防災の拠点の完成を祝いました。

緑川船津地区河川防災ステーションに関するお問い合わせ先 町建設課 ☎096-234-1183